



山北小学校5年
松永 そあら 空桜さん

私にできること

すつきりした気持ちこそ、社会を明るくするためにとても大切なことだと思っています。

3年生のある日、私は学校でたくさんさんの落とし物を見つけました。しかし、名前を見てもだれのものかわかりません。「落とし人は困っているだろうな」「助けないと」と思いました。その時、私は勇気を出して拾い、持ち主を探して届けました。すると、その人から「ありがとう」を言われて心がすつきりしました。きつと拾わないでそのままにしていたら、気持ちかもやもやしたままだったと思います。勇気を出して行動してよかったです。家に帰ると、お母さんから「優しいね。困っている人がいたら助けてね」と言われました。なので、困っている人を見つけたら、また私にできることをしたいと思います。

みなさんもこれまでに「あの人が困っているな」「どうしたのかな」と感じる場面であつたことがあると思います。その時に見て見ぬふりをするのではなく、できることでいいので行動すれば、きつとすつきりした気持ちになります。これは難しいことではありません。「自分にできること」でいいのです。相手のことを考えた行動は、した人もされた人もどちらもいい気持ちになります。

社会を明るくするために思いやりの心が大切ですが、最初は勇気がいるかもしれません。でも、勇気を出して行動すれば、きつと気持ちがあつてすつきりします。そして、必ずそれを見てくれている人たちがいます。そうして思いやりの輪が広がっていき、思いやりの気持ちがあふれる明るい社会になつてほしいと思います。そのためにも思いやりの心で、まずは、「私にできること」をこれからも続けていきたいと思えます。そして一人一人が「自分にできること」をして、社会を明るくしてほしいと思います。